



●尾張支社
一宮市栄
2-14-29
アスティー宮
北館102号
電話 0586(72)5003
FAX 0586(72)6823

●尾東支局
春日井市上条町
1-215
原ビル4階
電話 0568(41)9950
FAX 0568(41)9951

●半田支局
半田市泉町1-4
新美ビル4階
電話 0569(24)6320
FAX 0569(24)6367

五合が防汚塗料拡販へ

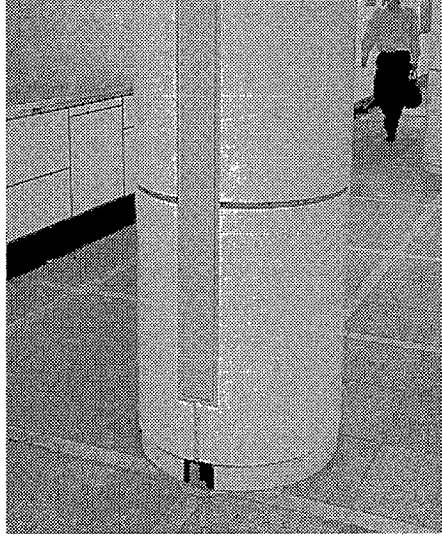
中国で合弁設立検討 国内でも採用先増加

五合(本社春日井市大手町、小川宏二社長、電話0568・35・200)は、主力の防汚塗料製品の拡販を図る。海外では合弁会社設立を計画しており、年内をめどに中国の日系企業と折衝を進めている。国内でも近々採用先を増やそうとする。事業拡大に伴い、生産能力増強をねらいに小牧市内に生産拠点新設も計画している。



小川宏二社長

同社の防汚塗料「ゼロ・クリア」(透明タイプ)、「ゼロ・テクト」(有色タイプ)は、環境に優しい完全無機塗料。親水性が高く、油などの汚れが付着しても水だけで簡単に落ちる。また、傷がつきにくく、耐摩耗性、耐熱性、抗菌性に優れる。ステンレス、ガラス、



昨年に防汚塗料が採用された東京の地下鉄駅構内の支柱

セラミックスなどにコーティングでき、10年近く防汚効果を保つ。これまでに国内外で、食器類、自動車部品、家電製品や建物の外壁材、厨房機器、カーミラーなどに採用された実績がある。また、焼き肉チェーン店が店舗の厨房設備などで導入。昨年には、東京の地下鉄駅構内の支柱、壁面に採用されている。

事業拡大に向けて、新たに中国ビジネスに注力。深圳市に拠点を置く家電関連企業や、携帯電話の表面処理を手がける大手日系企業に同塗料を納入した。その後、日系企業と合弁会社を上海市や香港に設立し、中国国内で拡販を図る方向で検討を進めている。

(春日井・柴田芳尚)

女性参加者に敢闘賞

豊田織機が社内技能競技会

【大府】豊田自動織機はこのほど、大府市江端町の技術技能ラーニングセンターで、第10回社内技能競技会を開いた。今回は海外子会社からの初参加も含め、関係・協力会社から若手技能者ら86人が参加した。応援で駆け付けた1300人の関係者が見守る中、モノづくりの腕を競い合った。



「つり橋」実現へ協議体制

犬山会議所が通常議員総会

【犬山】犬山商工会議所は27日、犬山市天神町の同会議所会館で通常議員総会を開催し、2017年度の事業計画や収支予算などを承認した。

冒頭、日比野良太郎会頭があいさつし、「『頑張る』の現実に向けて関係機関、団体などの協議体制



「観・農・商連携」の推進にも力を入れる。総会後には、日本商工会議所会頭表彰が行われ、役員・議員表彰として、犬山会議所で就任30年以上の副会頭の坂野秀生氏(パンン相談役)、20年以上の今井満氏(今井設備工業会長)ら4人を表彰。勤続30年以上の職員表彰として、中小企業相談所長の平松善一氏が表彰された。

再生プラスチック素材の製造を手掛ける、いその(本社名古屋市中東区)は3月1日、創業60周年を迎えた。主力の稲沢工場(稲沢市)では年間1500トンを生産し、トヨタ自動車のハイブリッド車「SAI」などに採用されている。「2019年8月期までに売上高130億円を目指す」と話す磯野正幸社長に、今後の取り組みなどを聞いた。

設備投資と稼働率の見通しについて。

「向こう数年は大きな設備投資を行わない。だが、既存の技術を磨き上げ、稲沢市と福岡県北九州市にある二つの工場稼働率を高

先見明言

いその社長

磯野 正幸氏

(いその・まさゆき)

19年度に売上高130億円

取り組みは。「環境省が公募した『低炭素型3R技術・システム実証事業』に、昨年度に続いて選ばれた。二酸化炭素削減が期待できる技術やシステムの有効性を検証する事業で、当社では使用済み自動車内装品などから再生材を生産する工程において、効率化と低炭素化を図る実証実験を行っている。共同開発し、SAIに1台あたり約15kgが採用される見込みだ」と話している。18年以降、自動車



「既存の処理技術をブラッシュアップさせる」と話す磯野社長

処理技術高め供給量増へ

の再生材利用に関する新制度が確立すると言われている。そのため、各自動車メーカーがリサイクル材を使用する動きが今までより出てくるだろう。

「加工前の品質に左右されず、いかに高品質な再生プラスチックを生産できるかが課題。部品メーカーの端材は原料として品質が高いが、大量に確保するのは難しい。そのため、端材に依存せず、社内の処理技術を高めることで供給量を増やしていきたい。従来は取り扱っていた少なかった自動車シュレッダーダストの処理に活路を見出していきたい」